

**製品名: KDM2A ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe01977**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 133 kDa; Observed MW: 133 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	KDM2A
別名	FBL7; CXXC8; FBL11; FBXL11; JHDM1A; LILINA
遺伝子 ID	22992
SwissProt ID	Q9Y2K7
免疫原	ヒト FBXL11 の合成ペプチド

**背景**

ヒストン H3 の Lys-36 を特異的に脱メチル化するヒストン脱メチル化酵素。ヒストンコードにおいて中心的な役割を果たします。ジ

メチル化された H3 の Lys-36 残基を優先的に脱メチル化しますが、モノメチル化およびトリメチル化された H3 の Lys-36 残基に対する活性は弱い、全くありません。また、一部のリン酸化タンパク質を認識して結合し、ユビキチン化と分解を促進する可能性があります。ヘテロクロマチン状態の維持に必要です。セントロメアに結合し、セントロメアのサテライトリピートクラスターによってコードされる小さな非コード RNA の転写を抑制します。特に有糸分裂中、セントロメアの完全性とゲノム安定性を維持するために必要です。

## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

## 画像データ

KDM2A 抗体を使用した Jurkat 溶解物中の FBXL11 のウエスタン ブロット分析。

